

国際ワークショップ「近代中国における翻訳概念の展開」

(主催: 京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター)

日時: 2010年2月27日(土) 10:00~17:00

場所: 京都大学人文科学研究所(本館) 1F セミナー室1

会議言語: 日本語、中国語(報告には通訳をつけないが、コメント・質疑応答には適宜通訳をつける)

プログラム

10:00—10:30 開会の挨拶、趣旨説明(狭間直樹)

10:30—12:00 第1報告

ゴーテリンド・ミュラー＝サイニ(Gotelind MÜLLER-SAINI、ハイデルベルグ大学・教授)

「近代中国と“人種”概念: グローカル化問題についての歴史的検討」(中国語)

12:00—13:30 昼食・休憩

13:30—15:00 第2報告

趙立彬(中山大学・教授)

「“文化”的“訳”与“訳”: “文化学”建構的一个元概念的生成」(中国語)

15:00—15:15 コーヒー・ブレイク

15:15—16:45 第3報告

森時彦(京都大学・教授)

「東アジアにおける西洋経済学を受容」(日本語)

16:45—17:00 総括・閉会の挨拶(石川禎浩)

* 問い合わせ先: 京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター
Tel. 075-753-7091 E-mail: ishikawa [at] zinbun.kyoto-u.ac.jp